

VI プロスポーツキャンプ等調査

1. 調査の概要

1-1 はじめに

本業務は、平成29年秋季から平成30年春季にかけて、県内各所で行われたプロスポーツチームのキャンプ、プレシーズンマッチ等、プロゴルフのツアー・トーナメントに訪れた観戦客の動向を調査し、その結果を集計、分析することを目的としている。

調査精度の均一化を図るため、調査員（2～4名）による対面聞き取り方式でアンケート調査を実施。あわせて1グループにつき、調査対象者を1名（1回答）とするよう徹底している。

1-2 調査スケジュール

季節	スポーツ種別	調査区分	調査日	サンプル数
秋 季	野球	オリックスバファローズ秋季キャンプ	11/3	100
	野球	阪神タイガース秋季キャンプ	11/4	100
	サッカー	サッカー J 3 公式戦	11/5	100
	ゴルフ	カシオワールドオープン	11/25	200
春 季	サッカー	徳島ヴォルティス春季キャンプ	1/20・21	100
	サッカー	アルビレックス新潟春季キャンプ	1/20・27、2/4	100
	野球	埼玉西武ライオンズ春季キャンプ	2/3・11	100
	野球	ハンファ・イーグルス春季キャンプ	2/18	100
	野球	阪神タイガース春季キャンプ	2/17・18	7
	野球	プロ野球プレシーズンマッチ	2/24・25	400
	ゴルフ	ヨコハマタイヤPRGRレディス	3/10	200
				1,507

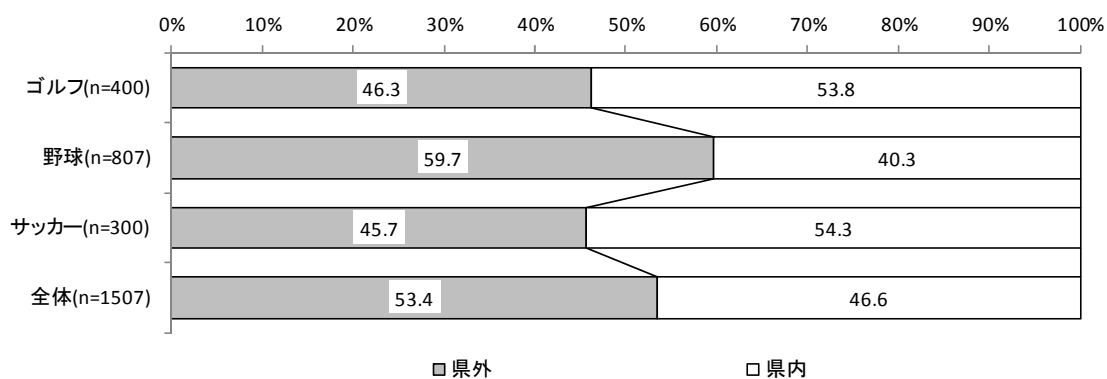
1-3 調査結果の見方

- (1) 図表に記入している構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は構成比を合計すると100%以上になる。
- (2) 図表中、及び本文中の調査区分は以下の通り、簡素化して表記している。
- | | |
|---------------------|------------|
| ① 阪神タイガース秋季キャンプ | : タイガース秋季 |
| ② オリックスバファローズ秋季キャンプ | : オリックス秋季 |
| ③ サッカーJ3公式戦 | : J3公式戦 |
| ④ カシオワールドオープン | : カシオ |
| ⑤ 徳島ヴォルティス春季キャンプ | : ヴォルティス |
| ⑥ アルビレックス新潟春季キャンプ | : アルビレックス |
| ⑦ 埼玉西武ライオンズ春季キャンプ | : ライオンズ春季 |
| ⑧ ハンファ・イーグルス春季キャンプ | : ハンファ |
| ⑨ 阪神タイガース春季キャンプ | : タイガース春季 |
| ⑩ プロ野球プレシーズンマッチ | : 野球プレシーズン |
| ⑪ ヨコハマタイヤPRGRレディス | : ヨコハマタイヤ |
- (3) 集計の調査対象者は県内旅行者を含んでいるが、集計項目により特定の調査対象者だけを集計している場合がある。この場合は、図表名に除外した調査対象者を記載している。

1-4 アンケート結果の特徴

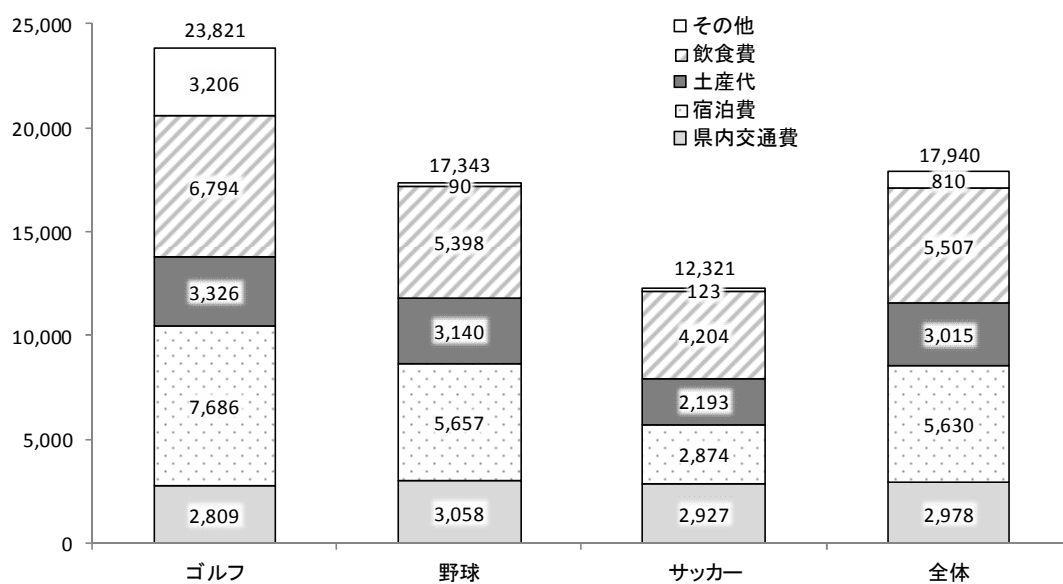
(1) スポーツ種別でみた県外客割合と県内消費額

(図1) スポーツ種別県外客・県内客割合 (%)



野球は県外客が約6割を占め、サッカーとゴルフはやや県内客が多くなっている (図1)。

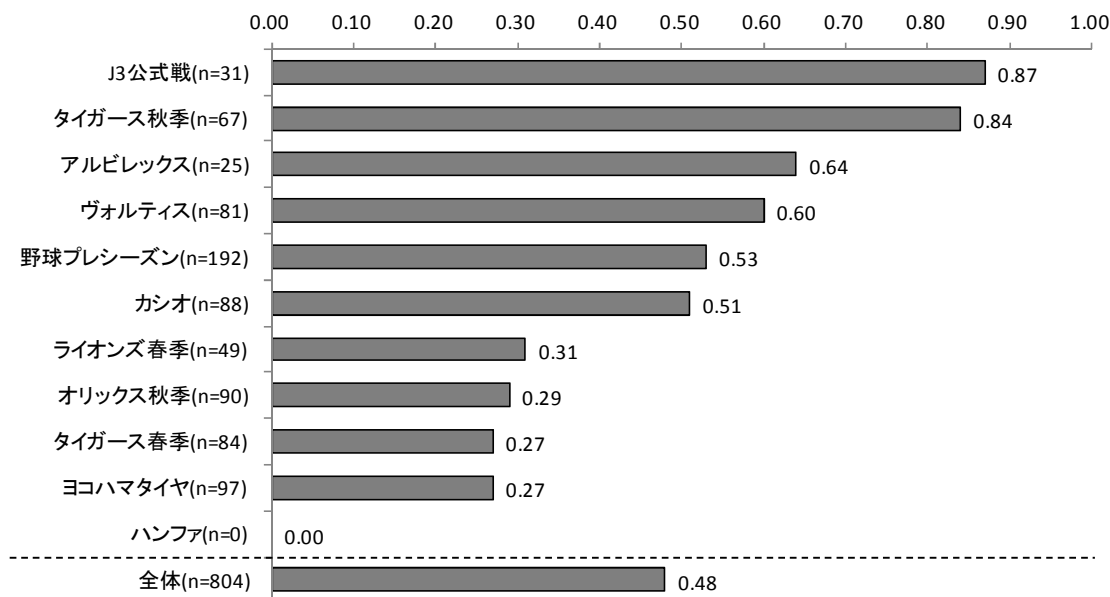
(図2) 県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外バック利用客を除く



県内平均消費額をスポーツ種別にみると、ゴルフが23,821円で最も高く、次いで野球が17,343円、サッカーが12,321円となっている (図2)。

(2) 立寄観光スポット平均件数

(図3) 立寄観光スポット平均件数 (件) ※県内客を除く



県外客の立寄観光スポット平均件数は0.48件となっている。調査区分別にみると、J3公式戦が0.87件で最も多くなっており、タイガース春季とヨコハマタイヤが0.27件で最も少なくなっている。※ハンファは県外客サンプルがなかったため比較から除外。(図3)。

(3) 主なご意見・ご感想

(公共交通機関、会場までのアクセスについて)

- キャンプ期間中は臨時のバスを出してほしい。タクシーは高いし、路線バスは便数が少ないので。(オリックス秋季・東京都・30歳代女性)
- 公共交通を今の時期だけでも増便してほしい。選手の入り時間に合わせて来たかったが、7時台のバスがなかった。夜行バスで来ると朝に空き時間ができるのでリンクさせてほしい。(ライオンズ春季・京都府・40歳代男性)
- 路線バスの接続が悪く、乗り換えが必要で何かと不便だった。入場料を取ってでも、主催者からシャトルバスを出してもらえないものかと思う。(野球プレシーズン・香川県・50歳代男性)
- 土日だけでもJR駅前からのシャトルバスを復活させてほしい。(ヨコハマタイヤ・高知県・70歳以上男性)

(会場周辺の誘導案内、整備等について)

- 東部球場は駐車場の場所が分かりづらく、グルグル回った。もう少し目立つように誘導板や標識を掲示してほしいと思う。(オリックス秋季・島根県・40歳代女性)
- バイクの駐輪場の案内がなかった。警備員の方などが誘導してくれたらいいと思う。(J3公式戦・高知県・40歳代男性)
- 駐車場が無料というのは良い。ファンのためになる。(タイガース春季・岡山県・30歳代男性)

(ファンサービス、PR等について)

- 釜あげちりめん丼を食べに行く。スタンプラリーの冊子をもらったので行きたくなった。(タイガース春季・香川県・40歳代女性)
- 選手との握手会など、ファンサービスがあればもっと来たいと思う。(ハンファ・高知県・20歳未満男性)
- ファンサービスがあれば、やはり来たいと思う。それがどんな内容で、試合前か後に行うのかなど、スケジュールも分かれば嬉しい。子どもたちにできるだけプロの試合を見せたいので、こういった無料で見られる一軍の試合があるのはありがたい。(野球プレシーズン・愛媛県・40歳代女性)
- 露店などがもっと充実していると嬉しい。せっかく高知に来たら、ご当地のものが食べたいので、そういった出店があれば楽しく、来る楽しみも増える。(野球プレシーズン・兵庫県・20歳代女性)

(その他、感想など)

- プロギアレディスと土佐のおきゃくが同じタイミングで開催されるのが楽しみになっている。毎年そうなればいいのにと願っている。(ヨコハマタイヤ・広島県・50歳代女性)
- キャンプ見学ツアーで来た。一般の人が入れないエリアへも入ることができる特典付きで、沖縄でも同じようなツアーがある。(タイガース春季・兵庫県・30歳代女性)
- もっと試合をしてくれると、もっと高知へ来たくるので、キャンプ誘致を今以上に進めてほしい。(ヴォルティス・徳島県・30歳代男性)
- 毎年あるお祭りのような感じで楽しいので、止めてほしくないと思う。第一回大会からずっと続けて来ている。(カシオ・高知県・60歳代男性)

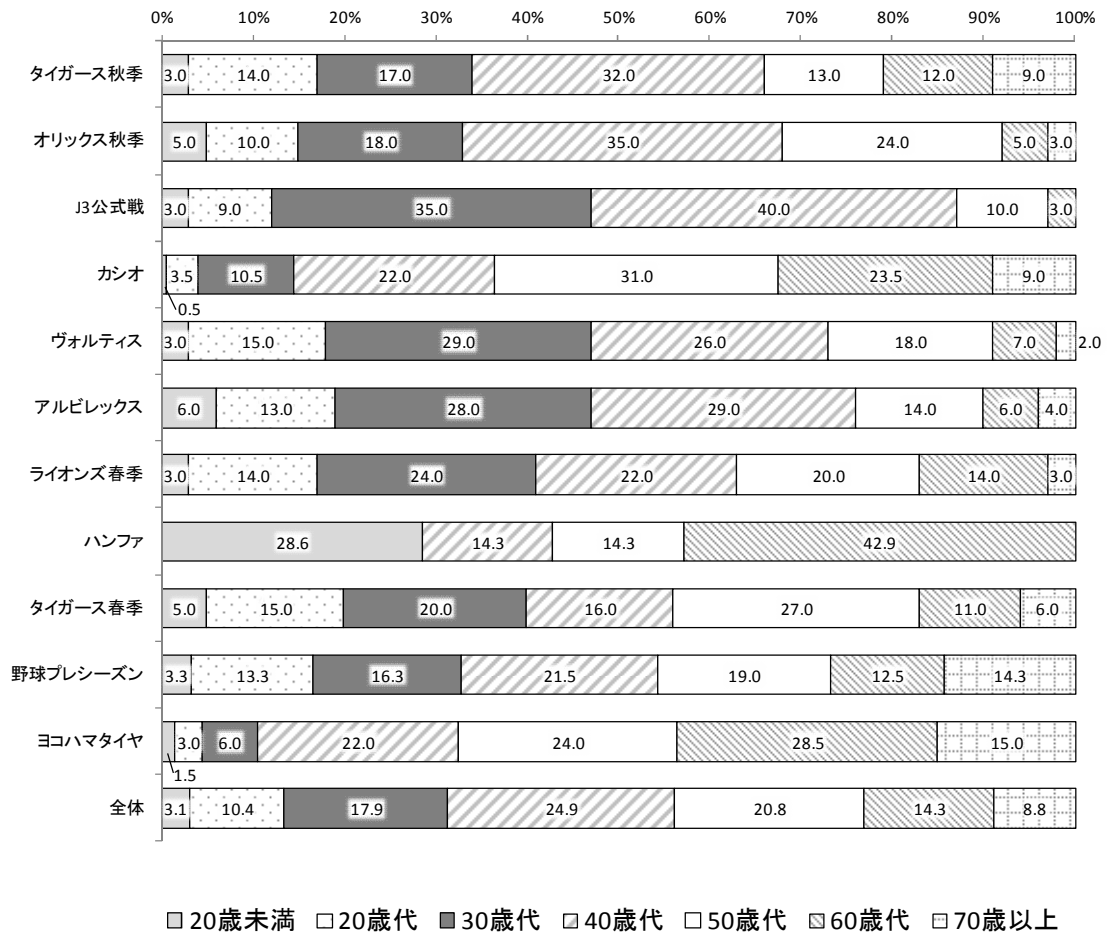
2. 年代

2-1 年代割合

(表 2-1) 観戦者年代割合 (上段：件 下段：%)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
タイガース秋季	3	14	17	32	13	12	9	100
	3.0	14.0	17.0	32.0	13.0	12.0	9.0	100.0
オリックス秋季	5	10	18	35	24	5	3	100
	5.0	10.0	18.0	35.0	24.0	5.0	3.0	100.0
J3公式戦	3	9	35	40	10	3	0	100
	3.0	9.0	35.0	40.0	10.0	3.0	0.0	100.0
カシオ	1	7	21	44	62	47	18	200
	0.5	3.5	10.5	22.0	31.0	23.5	9.0	100.0
ヴォルティス	3	15	29	26	18	7	2	100
	3.0	15.0	29.0	26.0	18.0	7.0	2.0	100.0
アルビレックス	6	13	28	29	14	6	4	100
	6.0	13.0	28.0	29.0	14.0	6.0	4.0	100.0
ライオンズ春季	3	14	24	22	20	14	3	100
	3.0	14.0	24.0	22.0	20.0	14.0	3.0	100.0
ハンファ	2	0	0	1	1	3	0	7
	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	0.0	100.0
タイガース春季	5	15	20	16	27	11	6	100
	5.0	15.0	20.0	16.0	27.0	11.0	6.0	100.0
野球プレシーズン	13	53	65	86	76	50	57	400
	3.3	13.3	16.3	21.5	19.0	12.5	14.3	100.0
ヨコハマタイヤ	3	6	12	44	48	57	30	200
	1.5	3.0	6.0	22.0	24.0	28.5	15.0	100.0
全体	47	156	269	375	313	215	132	1,507
	3.1	10.4	17.9	24.9	20.8	14.3	8.8	100.0

(図 2-2) 観戦者年代割合 (%)



全体の年代をみると、「40歳代」の割合が24.9%で最も多くなっており、次いで「50歳代」が20.8%、「30歳代」が17.9%、「60歳代」が14.3%と続いている。

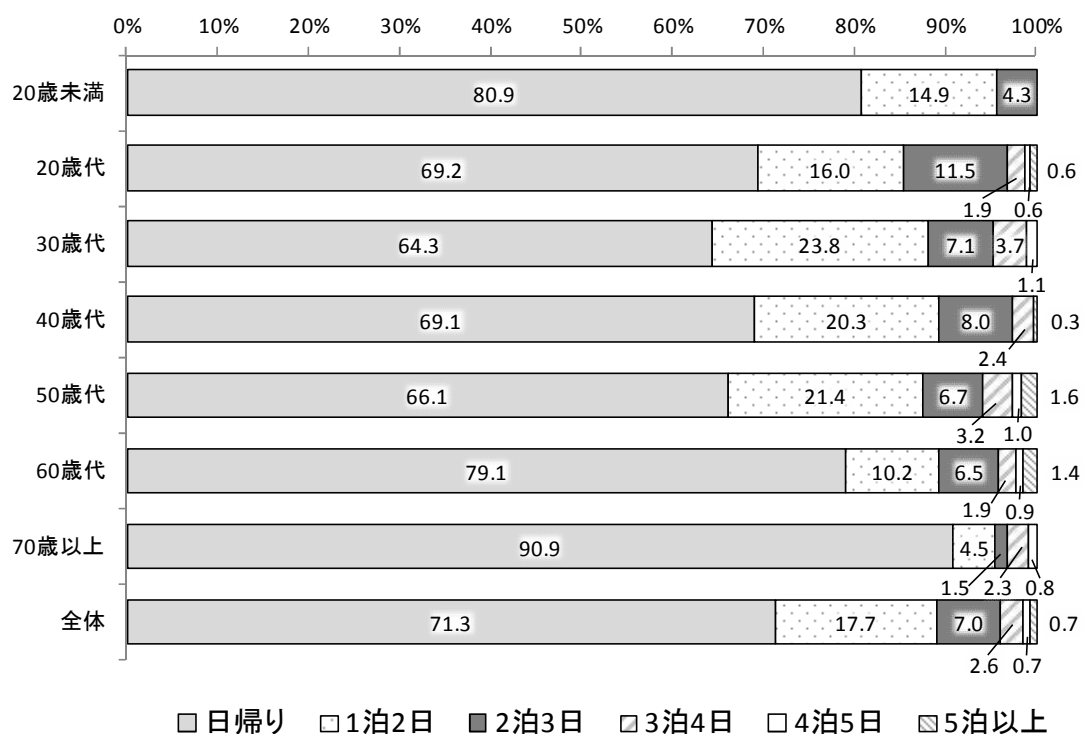
調査区分ごとにみると、ゴルフは40歳代以上の年代が多く、ヨコハマタイヤで89.5%、カシオで85.5%となっている。また、サッカーは30歳代以下の年代が多くなっている。

2-2 年代別旅行日数

(表 2-3)年代別旅行日数割合 (上段 : 件 下段 : %)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
20歳未満	38	7	2	0	0	0	47
	80.9	14.9	4.3	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	108	25	18	3	1	1	156
	69.2	16.0	11.5	1.9	0.6	0.6	100.0
30歳代	173	64	19	10	3	0	269
	64.3	23.8	7.1	3.7	1.1	0.0	100.0
40歳代	259	76	30	9	0	1	375
	69.1	20.3	8.0	2.4	0.0	0.3	100.0
50歳代	207	67	21	10	3	5	313
	66.1	21.4	6.7	3.2	1.0	1.6	100.0
60歳代	170	22	14	4	2	3	215
	79.1	10.2	6.5	1.9	0.9	1.4	100.0
70歳以上	120	6	2	3	1	0	132
	90.9	4.5	1.5	2.3	0.8	0.0	100.0
全体	1075	267	106	39	10	10	1,507
	71.3	17.7	7.0	2.6	0.7	0.7	100.0

(図 2-4) 年代別旅行日数割合 (%)



全体の旅行日数は、「日帰り」の割合が71.3%で最も多くなっており、次いで「1泊2日」が17.7%、「2泊3日」が7.0%と続いている。

年代別にみると、20歳未満と70歳以上で「日帰り」の割合が80%を超え、他の年代に比べて宿泊の割合が低くなっている。

2-3 年代別旅行形態割合

(表 2-5) 年代別旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
20歳未満	9	1	23	2	10	0	0	0	2	47
	19.1	2.1	48.9	4.3	21.3	0.0	0.0	0.0	4.3	100.0
20歳代	47	14	26	10	50	6	0	0	3	156
	30.1	9.0	16.7	6.4	32.1	3.8	0.0	0.0	1.9	100.0
30歳代	65	50	87	16	46	1	1	0	3	269
	24.2	18.6	32.3	5.9	17.1	0.4	0.4	0.0	1.1	100.0
40歳代	87	81	128	10	51	11	0	2	5	375
	23.2	21.6	34.1	2.7	13.6	2.9	0.0	0.5	1.3	100.0
50歳代	88	111	39	13	53	6	0	0	3	313
	28.1	35.5	12.5	4.2	16.9	1.9	0.0	0.0	1.0	100.0
60歳代	79	60	14	13	46	2	0	0	1	215
	36.7	27.9	6.5	6.0	21.4	0.9	0.0	0.0	0.5	100.0
70歳以上	72	27	8	5	19	0	1	0	0	132
	54.5	20.5	6.1	3.8	14.4	0.0	0.8	0.0	0.0	100.0
全体	447	344	325	69	275	26	2	2	17	1,507
	29.7	22.8	21.6	4.6	18.2	1.7	0.1	0.1	1.1	100.0

全体の旅行形態割合は、「1人」の割合が29.7%で最も多くなっており、次いで「夫婦」が22.8%、「子供連れ家族」が21.6%、「友人・知人」が18.2%と続いている。

年代別にみると、20歳未満は「子供連れ家族」や「友人・知人」、20歳代は「友人・知人」や「1人」、30歳代と40歳代は「子供連れ家族」や「1人」、50歳代は「夫婦」や「1人」、60歳代と70歳以上は「1人」や「夫婦」が多くなっている。

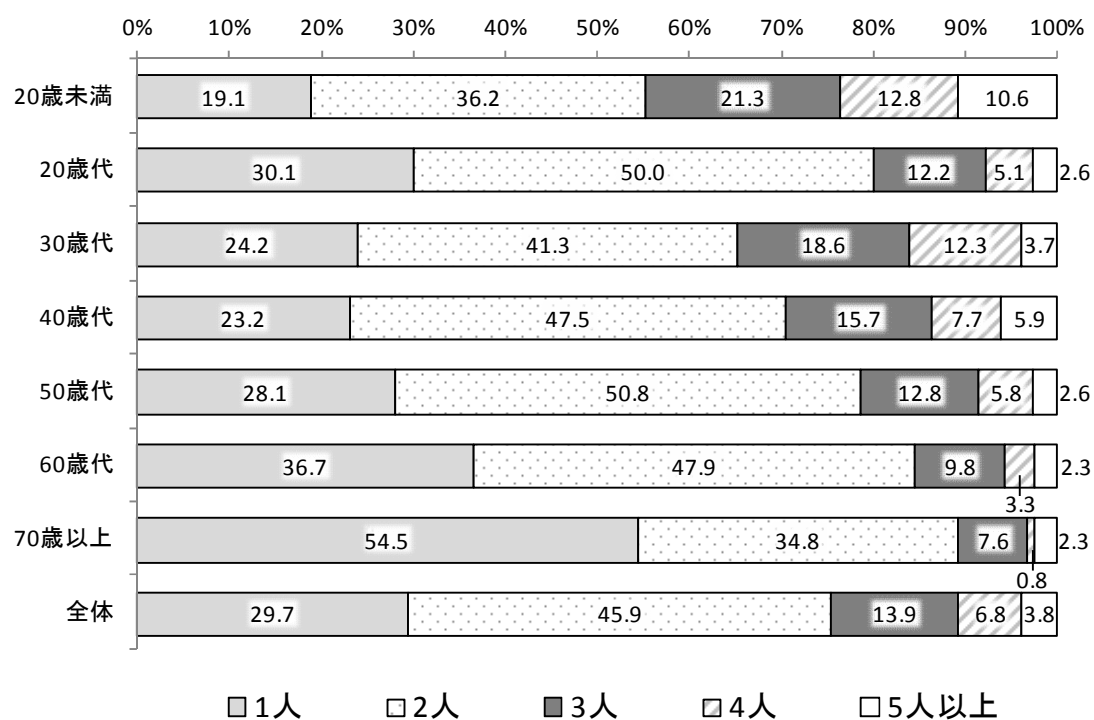
旅行形態別にみると、「1人」は70歳以上で、「夫婦」は50歳代で、「子供連れ家族」は20歳未満で、「友人・知人」は20歳代で最も多くなっている。

2-4 年代別同行者数割合

(表 2-6) 年代別同行者数割合 (上段：件 下段：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計	平均人数
20歳未満	9	17	10	6	5	47	3.4
	19.1	36.2	21.3	12.8	10.6	100.0	
20歳代	47	78	19	8	4	156	2.4
	30.1	50.0	12.2	5.1	2.6	100.0	
30歳代	65	111	50	33	10	269	2.4
	24.2	41.3	18.6	12.3	3.7	100.0	
40歳代	87	178	59	29	22	375	2.6
	23.2	47.5	15.7	7.7	5.9	100.0	
50歳代	88	159	40	18	8	313	2.1
	28.1	50.8	12.8	5.8	2.6	100.0	
60歳代	79	103	21	7	5	215	1.9
	36.7	47.9	9.8	3.3	2.3	100.0	
70歳以上	72	46	10	1	3	132	1.7
	54.5	34.8	7.6	0.8	2.3	100.0	
全体	447	692	209	102	57	1,507	2.3
	29.7	45.9	13.9	6.8	3.8	100.0	

(図 2-7) 年代別同行者数割合 (%)



全体の同行者数をみると、「2人」の割合が45.9%で最も多くなっており、次いで、「1人」が29.7%、「3人」が13.9%、「4人」が6.8%、「5人以上」が3.8%となっている。

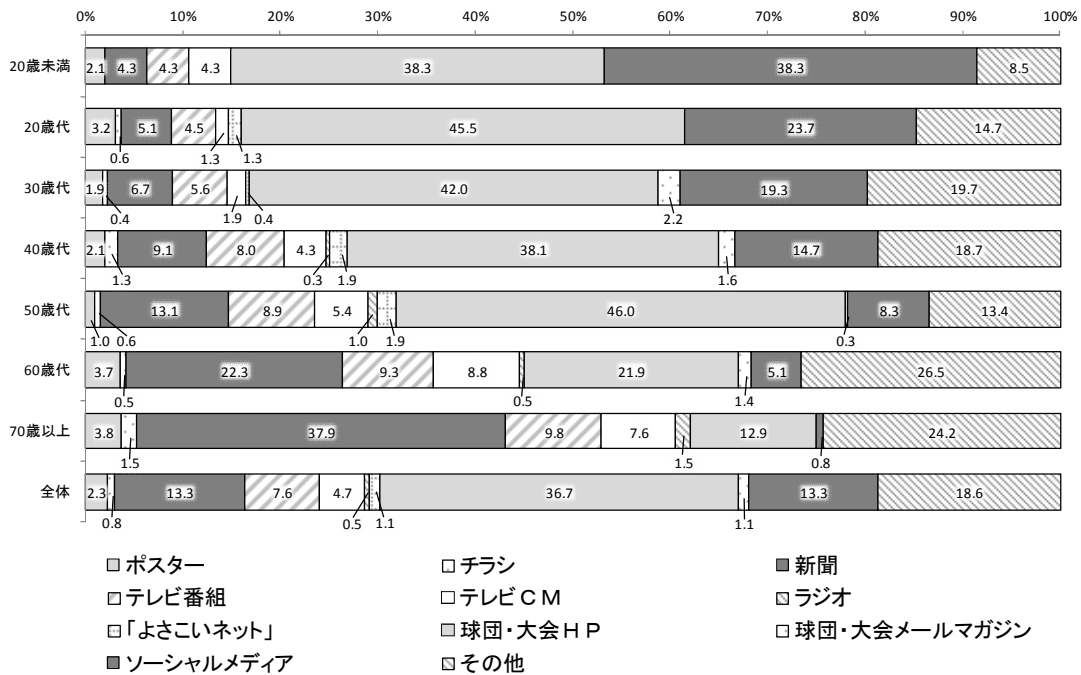
年代別にみると、70歳以上で「1人」の割合が最も多く、その他の年代では「2人」の割合が最も多くなっている。

2-5 年代別情報源割合

(表 2-8) 年代別情報源割合 (上段：件 下段：%)

	ポスター	チラシ	新聞	テレビ番組	テレビCM	ラジオ	よさこい ネット	球団・ 大会HP	球団・大会 メール マガジン	ソーシャル メディア (Twitter、 Facebook)	その他	合計
20歳未満	1	0	2	2	2	0	0	18	0	18	4	47
	2.1	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	38.3	0.0	38.3	8.5	100.0
20歳代	5	1	8	7	2	0	2	71	0	37	23	156
	3.2	0.6	5.1	4.5	1.3	0.0	1.3	45.5	0.0	23.7	14.7	100.0
30歳代	5	1	18	15	5	0	1	113	6	52	53	269
	1.9	0.4	6.7	5.6	1.9	0.0	0.4	42.0	2.2	19.3	19.7	100.0
40歳代	8	5	34	30	16	1	7	143	6	55	70	375
	2.1	1.3	9.1	8.0	4.3	0.3	1.9	38.1	1.6	14.7	18.7	100.0
50歳代	3	2	41	28	17	3	6	144	1	26	42	313
	1.0	0.6	13.1	8.9	5.4	1.0	1.9	46.0	0.3	8.3	13.4	100.0
60歳代	8	1	48	20	19	1	0	47	3	11	57	215
	3.7	0.5	22.3	9.3	8.8	0.5	0.0	21.9	1.4	5.1	26.5	100.0
70歳以上	5	2	50	13	10	2	0	17	0	1	32	132
	3.8	1.5	37.9	9.8	7.6	1.5	0.0	12.9	0.0	0.8	24.2	100.0
全体	35	12	201	115	71	7	16	553	16	200	281	1,507
	2.3	0.8	13.3	7.6	4.7	0.5	1.1	36.7	1.1	13.3	18.6	100.0

(図 2-9) 年代別情報源割合 (%)



全体の情報源を見ると、「球団・大会HP」の割合が36.7%と最も多くなっており、次いで「その他」が18.6%、「新聞」と「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」が13.3%と続いている。

年代別にみると、20歳未満は「球団・大会HP」と「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」の割合が、20歳代から50歳代は「球団・大会HP」が、60歳代は「その他」が、70歳以上は「新聞」が最も多くなっている。また、「新聞」や「テレビ番組」の割合は、年代が高くなるにつれ多くなっており、「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」は、年代が低くなるにつれ多くなっている。

また、「よさこいネット」、「球団・大会HP」、「球団・大会メールマガジン」、「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」を合わせた割合は、20歳未満で76.6%、20歳代で70.5%、30歳代で63.9%、50歳代で56.5%、40歳代で56.3%と若い年代でインターネットの利用が多くなっている。

その他の情報源の具体的な回答として、「毎年恒例の事なので知っている」、「家族や友人から誘われた」などが多く、そのほかゴルフでは「招待券をもらった」、サッカーでは「所属しているチームからの情報」などが挙げられている。

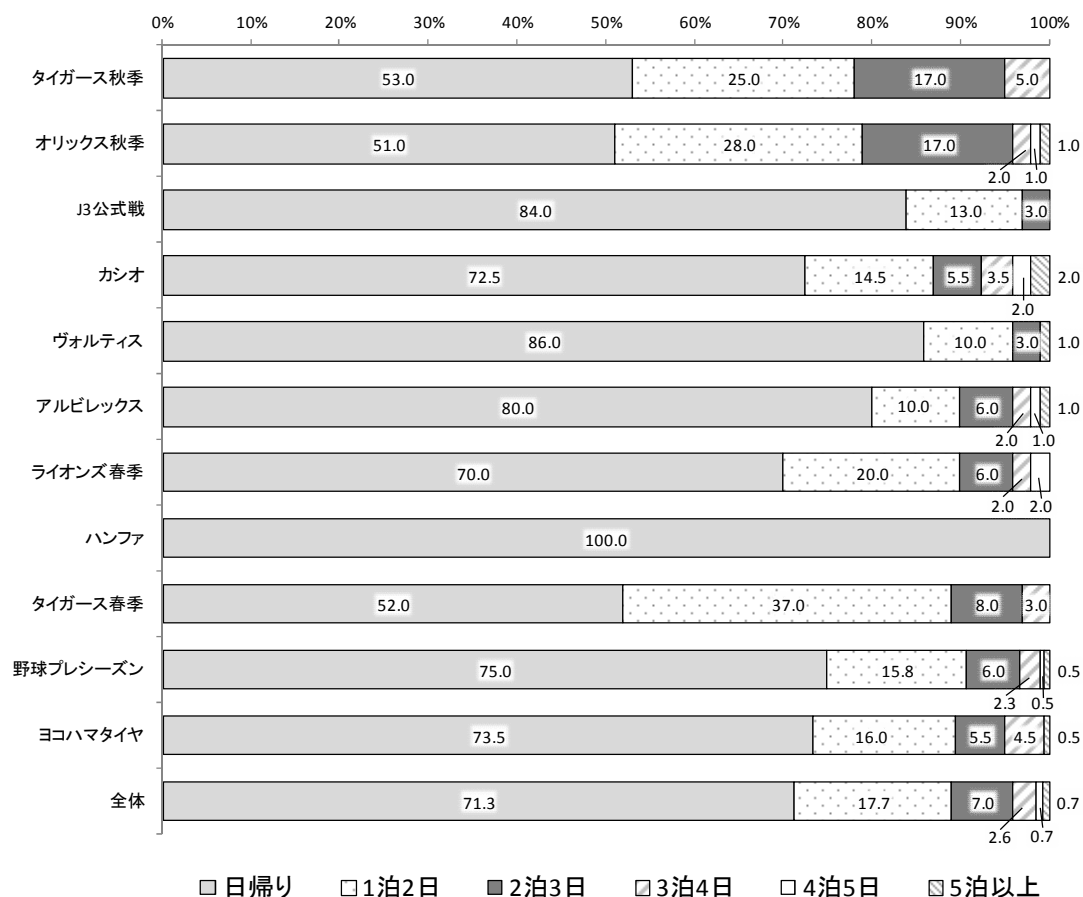
3. 日帰り客と宿泊客

3-1 日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-1) 日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
タイガース秋季	53	25	17	5	0	0	100
	53.0	25.0	17.0	5.0	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	51	28	17	2	1	1	100
	51.0	28.0	17.0	2.0	1.0	1.0	100.0
J3公式戦	84	13	3	0	0	0	100
	84.0	13.0	3.0	0.0	0.0	0.0	100.0
カシオ	145	29	11	7	4	4	200
	72.5	14.5	5.5	3.5	2.0	2.0	100.0
ヴォルティス	86	10	3	0	0	1	100
	86.0	10.0	3.0	0.0	0.0	1.0	100.0
アルビレックス	80	10	6	2	1	1	100
	80.0	10.0	6.0	2.0	1.0	1.0	100.0
ライオンズ春季	70	20	6	2	2	0	100
	70.0	20.0	6.0	2.0	2.0	0.0	100.0
ハンファ	7	0	0	0	0	0	7
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース春季	52	37	8	3	0	0	100
	52.0	37.0	8.0	3.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	300	63	24	9	2	2	400
	75.0	15.8	6.0	2.3	0.5	0.5	100.0
ヨコハマタイヤ	147	32	11	9	0	1	200
	73.5	16.0	5.5	4.5	0.0	0.5	100.0
全体	1075	267	106	39	10	10	1,507
	71.3	17.7	7.0	2.6	0.7	0.7	100.0

(図 3-2) 日帰り客と宿泊客の割合 (%)



全体の日帰り客と宿泊客を見ると、日帰り客の割合が71.3%、宿泊客が28.7%となっている。

調査区分別にみると、宿泊客の割合は、オリックス秋季が49.0%で最も多く、次いでタイガース春季が48.0%、タイガース秋季が47.0%と続いている。

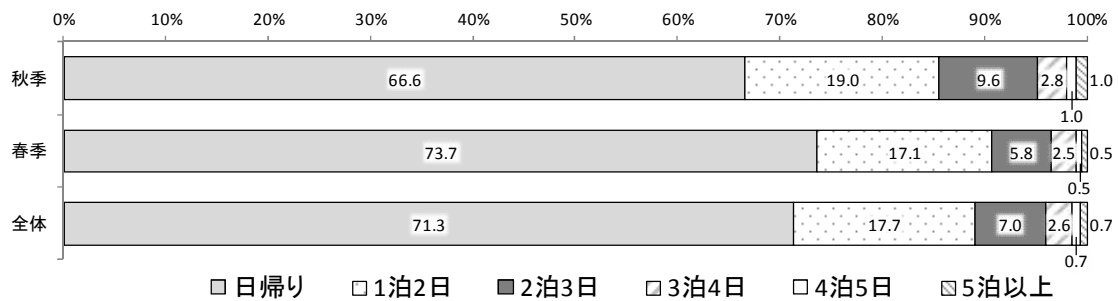
また、2泊3日以上の割合は、タイガース秋季が22.0%で最も多く、次いでオリックス秋季が21.0%、カシオが13.0%と続いている。

3-2 季節別日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-3) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
秋季	333	95	48	14	5	5	500
	66.6	19.0	9.6	2.8	1.0	1.0	100.0
春季	742	172	58	25	5	5	1,007
	73.7	17.1	5.8	2.5	0.5	0.5	100.0
全体	1075	267	106	39	10	10	1,507
	71.3	17.7	7.0	2.6	0.7	0.7	100.0

(図 3-4) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (%)



季節別に日帰り客と宿泊客の割合をみると、宿泊客は秋季が 33.4%、春季が 26.4%となっており、秋季の方が多くなっている。

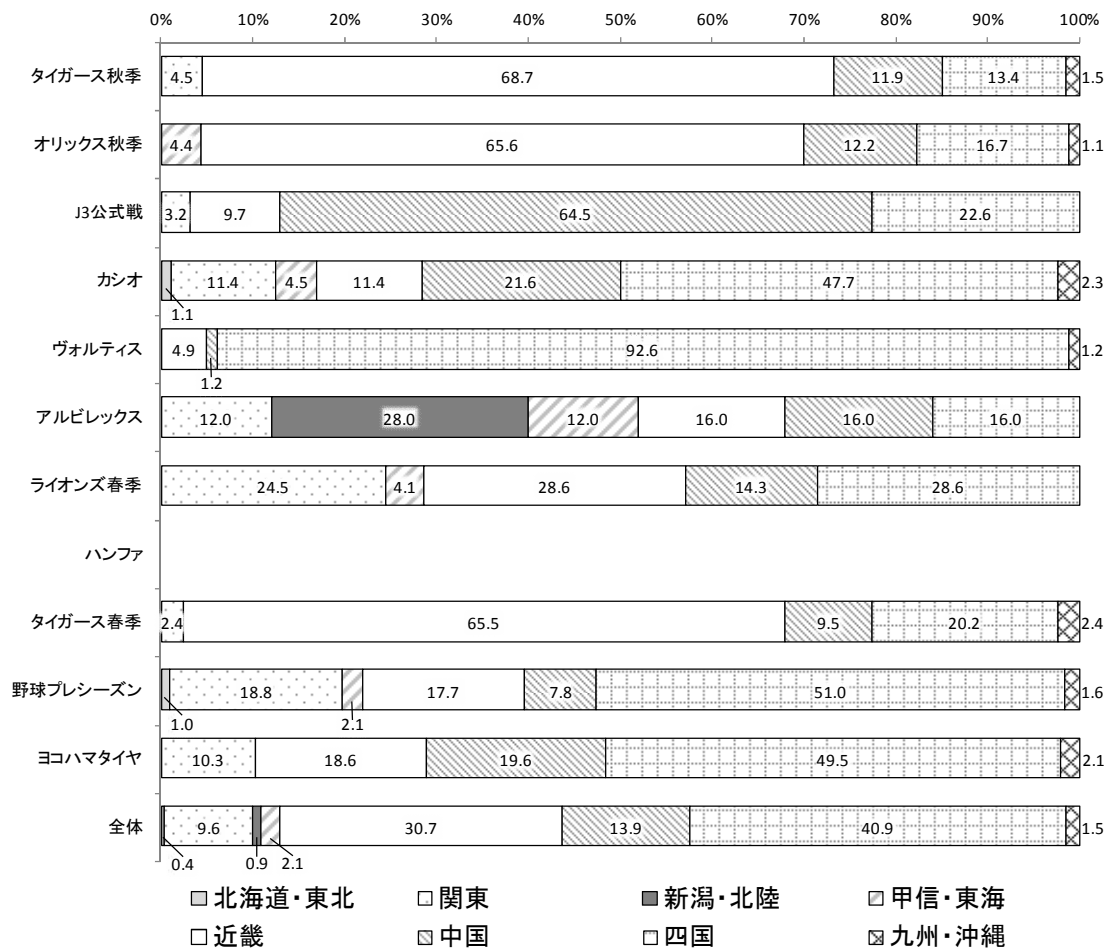
4. 出発地

4-1 出発地ブロック割合

(表 4-1) 出発地ブロック割合 (上段：件 下段：%) ※県内客を除く

	北海道・東北	関東	新潟・北陸	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	合計
タイガース秋季	0	3	0	0	46	8	9	1	0	67
	0.0	4.5	0.0	0.0	68.7	11.9	13.4	1.5	0.0	100.0
オリックス秋季	0	0	0	4	59	11	15	1	0	90
	0.0	0.0	0.0	4.4	65.6	12.2	16.7	1.1	0.0	100.0
J3公式戦	0	1	0	0	3	20	7	0	0	31
	0.0	3.2	0.0	0.0	9.7	64.5	22.6	0.0	0.0	100.0
カンオ	1	10	0	4	10	19	42	2	0	88
	1.1	11.4	0.0	4.5	11.4	21.6	47.7	2.3	0.0	100.0
ヴォルティス	0	0	0	0	4	1	75	1	0	81
	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	1.2	92.6	1.2	0.0	100.0
アルビレックス	0	3	7	3	4	4	4	0	0	25
	0.0	12.0	28.0	12.0	16.0	16.0	16.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	0	12	0	2	14	7	14	0	0	49
	0.0	24.5	0.0	4.1	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	100.0
ハンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
タイガース春季	0	2	0	0	55	8	17	2	0	84
	0.0	2.4	0.0	0.0	65.5	9.5	20.2	2.4	0.0	100.0
野球プレシーズン	2	36	0	4	34	15	98	3	0	192
	1.0	18.8	0.0	2.1	17.7	7.8	51.0	1.6	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	0	10	0	0	18	19	48	2	0	97
	0.0	10.3	0.0	0.0	18.6	19.6	49.5	2.1	0.0	100.0
全体	3	77	7	17	247	112	329	12	0	804
	0.4	9.6	0.9	2.1	30.7	13.9	40.9	1.5	0.0	100.0

(図 4-2) 出発地ブロック割合 (%) ※県内客・海外客を除く



県内客を除いた全体の発地ブロック割合は、四国が40.9%で最も多くなっており、次いで近畿が30.7%、中国が13.9%と続いている。

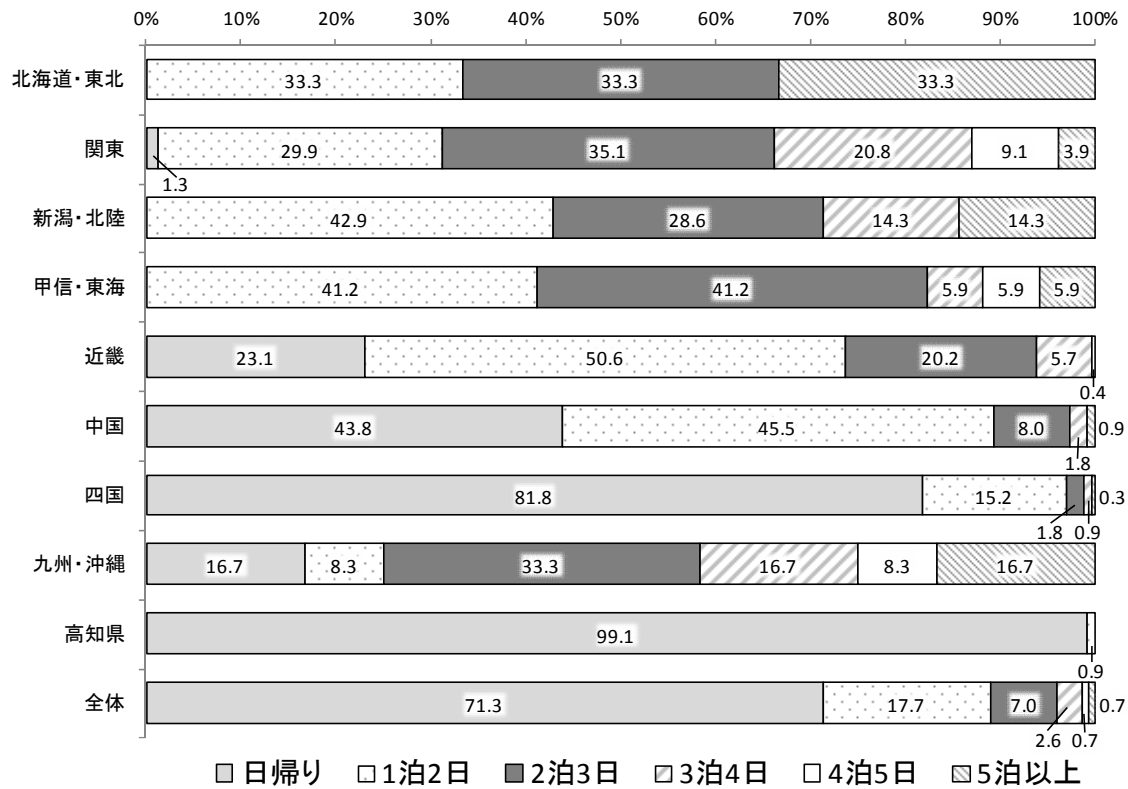
出発地別の主な傾向を見ると、四国の割合は、ヴォルティスが92.6%で最も多くなっており、次いで野球プレシーズンが51.0%、ヨコハマタイヤが49.5%と続いている。近畿はタイガース秋季が68.7%で最も多く、次いでオリックス秋季が65.6%、タイガース春季が65.5%と続いている。中国はJ3公式戦が64.5%でもっと多く、次いでカシオが21.6%、ヨコハマタイヤが19.6%と続いている。

4-2 出発地ブロック別県内旅行日数割合

(表 4-3) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (上段: 件 下段: %)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
北海道・東北	0	1	1	0	0	1	3
	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	100.0
関東	1	23	27	16	7	3	77
	1.3	29.9	35.1	20.8	9.1	3.9	100.0
新潟・北陸	0	3	2	1	0	1	7
	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	100.0
甲信・東海	0	7	7	1	1	1	17
	0.0	41.2	41.2	5.9	5.9	5.9	100.0
近畿	57	125	50	14	1	0	247
	23.1	50.6	20.2	5.7	0.4	0.0	100.0
中国	49	51	9	2	0	1	112
	43.8	45.5	8.0	1.8	0.0	0.9	100.0
四国	269	50	6	3	0	1	329
	81.8	15.2	1.8	0.9	0.0	0.3	100.0
九州・沖縄	2	1	4	2	1	2	12
	16.7	8.3	33.3	16.7	8.3	16.7	100.0
高知県	697	6	0	0	0	0	703
	99.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	1075	267	106	39	10	10	1,507
	71.3	17.7	7.0	2.6	0.7	0.7	100.0

(図 4-4) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (%)



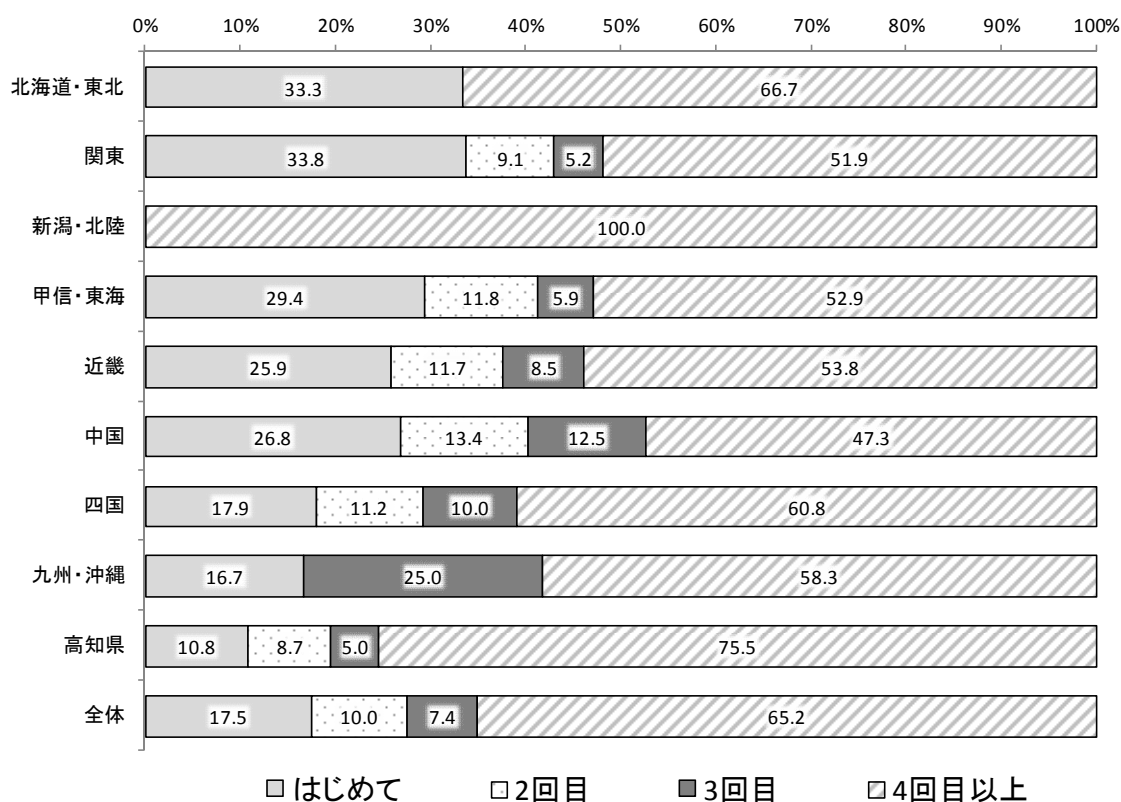
入込割合の多い発地ブロック別 (P18 表 4-1) に県内旅行日数を見ると、四国は「日帰り」の割合が 81.8% で最も多くなっており、次いで「1泊2日」が 15.2%、「2泊3日」が 1.8% と続いている。近畿は「1泊2日」が 50.6% で最も多く、次いで「日帰り」が 23.1%、「2泊3日」が 20.2% と続いている。中国は「1泊2日」が 45.5% で最も多く、次いで「日帰り」が 43.8%、「2泊3日」が 8.0% と続いている。

4-3 出発地ブロック別観戦回数割合

(表 4-5) 出発地ブロック別観戦回数割合 (上段：件 下段：%)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
北海道・東北	1	0	0	2	3
	33.3	0.0	0.0	66.7	100.0
関東	26	7	4	40	77
	33.8	9.1	5.2	51.9	100.0
新潟・北陸	0	0	0	7	7
	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
甲信・東海	5	2	1	9	17
	29.4	11.8	5.9	52.9	100.0
近畿	64	29	21	133	247
	25.9	11.7	8.5	53.8	100.0
中国	30	15	14	53	112
	26.8	13.4	12.5	47.3	100.0
四国	59	37	33	200	329
	17.9	11.2	10.0	60.8	100.0
九州・沖縄	2	0	3	7	12
	16.7	0.0	25.0	58.3	100.0
高知県	76	61	35	531	703
	10.8	8.7	5.0	75.5	100.0
全体	263	151	111	982	1,507
	17.5	10.0	7.4	65.2	100.0

(図 4-6) 出発地ブロック別観戦回数割合 (%)



全体の観戦回数をみると、「4回目以上」の割合が65.2%で半数を超えており、次いで「はじめて」が17.5%、「2回目」が10.0%、「3回目」が7.4%と続いている。

入込割合の多い発地ブロック別 (P121 表 4-5) に観戦回数をみると、四国は「4回目以上」の割合が60.8%で最も多くなっており、次いで「はじめて」が17.9%、「2回目」が11.2%と続いている。近畿は「4回目以上」が53.8%で最も多く、次いで「はじめて」が25.9%、「2回目」が11.7%と続き、中国は「4回以上」が47.3%で最も多く、次いで「はじめて」が26.8%、「2回目」が13.4%と続いている。

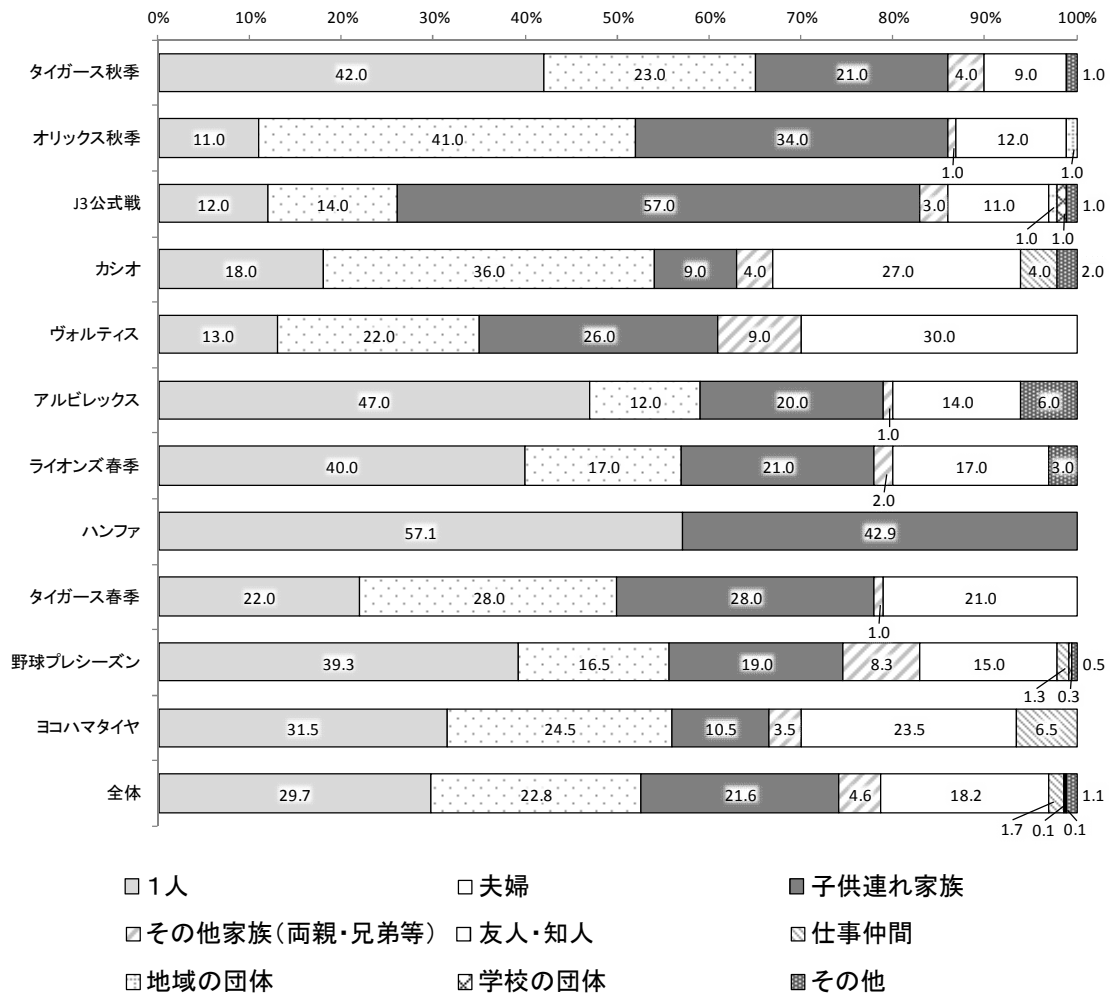
5. 旅行形態

5-1 旅行形態割合

(表 5-1)旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
タイガース秋季	42	23	21	4	9	0	0	0	1	100
	42.0	23.0	21.0	4.0	9.0	0.0	0.0	0.0	1.0	100.0
オリックス秋季	11	41	34	1	12	0	1	0	0	100
	11.0	41.0	34.0	1.0	12.0	0.0	1.0	0.0	0.0	100.0
J3公式戦	12	14	57	3	11	0	1	1	1	100
	12.0	14.0	57.0	3.0	11.0	0.0	1.0	1.0	1.0	100.0
カンオ	36	72	18	8	54	8	0	0	4	200
	18.0	36.0	9.0	4.0	27.0	4.0	0.0	0.0	2.0	100.0
ヴォルティス	13	22	26	9	30	0	0	0	0	100
	13.0	22.0	26.0	9.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	47	12	20	1	14	0	0	0	6	100
	47.0	12.0	20.0	1.0	14.0	0.0	0.0	0.0	6.0	100.0
ライオンズ春季	40	17	21	2	17	0	0	0	3	100
	40.0	17.0	21.0	2.0	17.0	0.0	0.0	0.0	3.0	100.0
ハンファ	4	0	3	0	0	0	0	0	0	7
	57.1	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース春季	22	28	28	1	21	0	0	0	0	100
	22.0	28.0	28.0	1.0	21.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	157	66	76	33	60	5	0	1	2	400
	39.3	16.5	19.0	8.3	15.0	1.3	0.0	0.3	0.5	100.0
ヨコハマタイヤ	63	49	21	7	47	13	0	0	0	200
	31.5	24.5	10.5	3.5	23.5	6.5	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	447	344	325	69	275	26	2	2	17	1507
	29.7	22.8	21.6	4.6	18.2	1.7	0.1	0.1	1.1	100.0

(図 5-2) 旅行形態割合 (%)



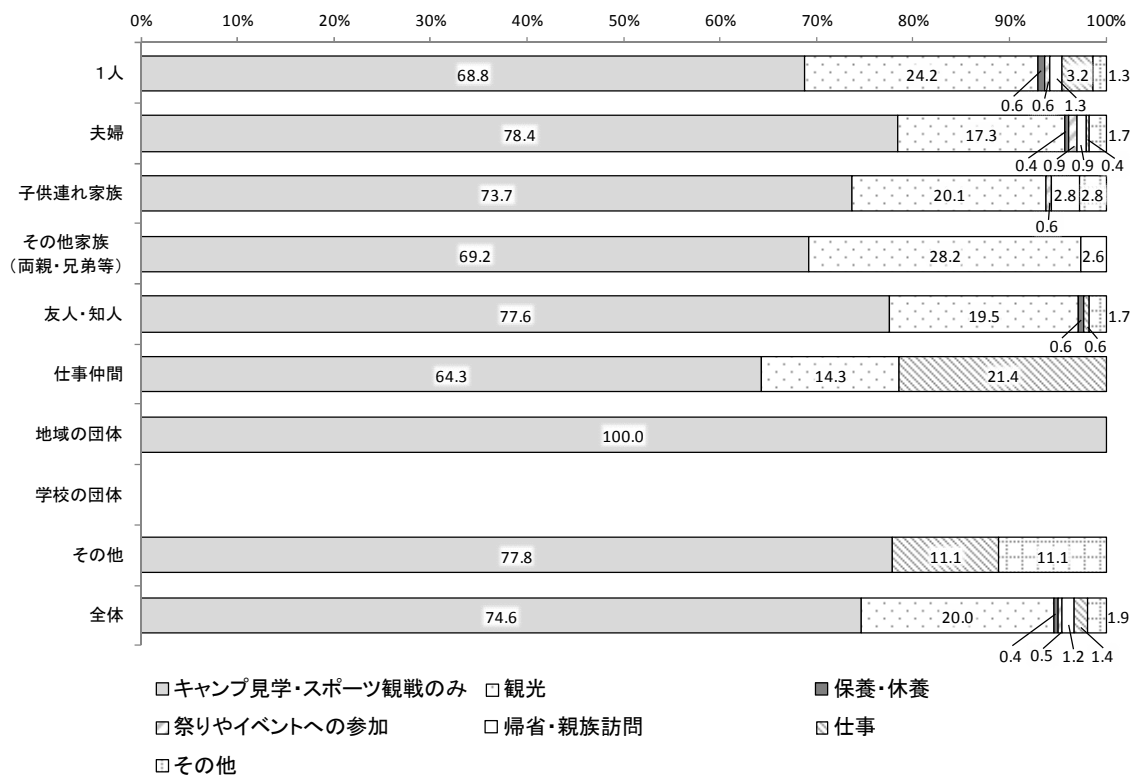
旅行形態の項目ごとに最も割合が多くなった調査区分をみると、「1人」はハンファ、「夫婦」はオリックス秋季、「子供連れ家族」はJ3公式戦、「友人・知人」はヴォルティスとなっている。

5-2 旅行形態別来県目的割合

(表 5-3)旅行形態別来県目的割合（上段：件 下段：％） ※県内客を除く

	スポーツ 観戦のみ	観光	保養・休養	祭りや イベント	帰省・ 親族訪問	仕事	その他	合計
1人	108	38	1	1	2	5	2	157
	68.8	24.2	0.6	0.6	1.3	3.2	1.3	100.0
夫婦	181	40	1	2	2	1	4	231
	78.4	17.3	0.4	0.9	0.9	0.4	1.7	100.0
子供連れ家族	132	36	0	1	5	0	5	179
	73.7	20.1	0.0	0.6	2.8	0.0	2.8	100.0
その他家族	27	11	0	0	1	0	0	39
	69.2	28.2	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	100.0
友人・知人	135	34	1	0	0	1	3	174
	77.6	19.5	0.6	0.0	0.0	0.6	1.7	100.0
仕事仲間	9	2	0	0	0	3	0	14
	64.3	14.3	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	100.0
地域の団体	1	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学校の団体	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	0	0	0	0	1	1	9
	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	100.0
全体	600	161	3	4	10	11	15	804
	74.6	20.0	0.4	0.5	1.2	1.4	1.9	100.0

(図 5-4) 旅行形態別来県目的割合 (%) ※県内客を除く



全体の来県目的割合は、「キャンプ見学・スポーツ観戦のみ」が74.6%で大半を占め、次いで「観光」が20.0%となっており、他の項目は少数となっている。

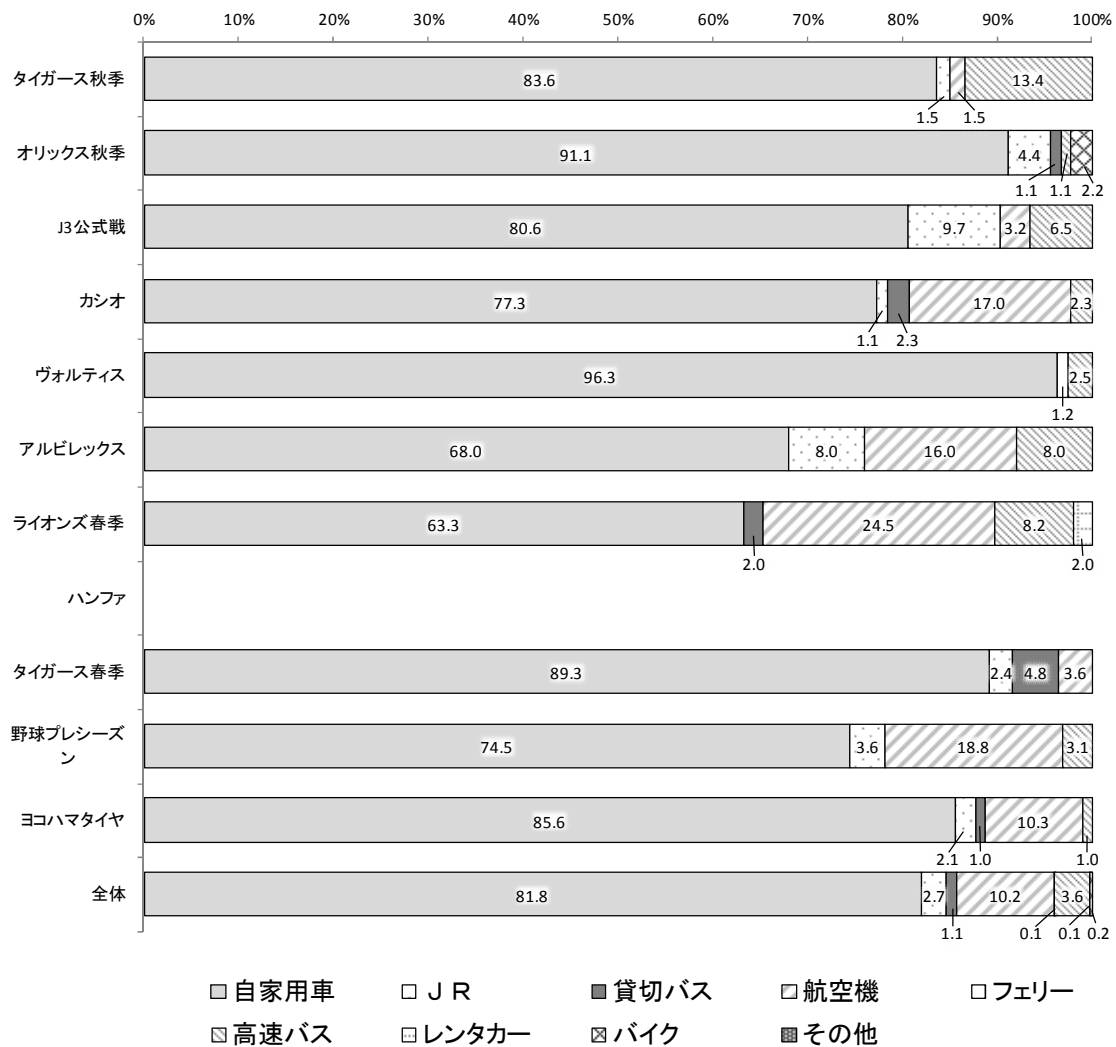
6. 入込利用交通機関

6-1 入込利用交通機関割合

(表 6-1)入込利用交通機関割合（上段：件 下段：％） ※県内客を除く

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他	合計
タイガース秋季	56	1	0	1	0	9	0	0	0	67
	83.6	1.5	0.0	1.5	0.0	13.4	0.0	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	82	4	1	0	0	1	0	2	0	90
	91.1	4.4	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	100.0
J3公式戦	25	3	0	1	0	2	0	0	0	31
	80.6	9.7	0.0	3.2	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	100.0
カンオ	68	1	2	15	0	2	0	0	0	88
	77.3	1.1	2.3	17.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	100.0
ヴォルティス	78	0	0	0	1	2	0	0	0	81
	96.3	0.0	0.0	0.0	1.2	2.5	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	17	2	0	4	0	2	0	0	0	25
	68.0	8.0	0.0	16.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	31	0	1	12	0	4	1	0	0	49
	63.3	0.0	2.0	24.5	0.0	8.2	2.0	0.0	0.0	100.0
ハンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
タイガース春季	75	2	4	3	0	0	0	0	0	84
	89.3	2.4	4.8	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	143	7	0	36	0	6	0	0	0	192
	74.5	3.6	0.0	18.8	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	83	2	1	10	0	1	0	0	0	97
	85.6	2.1	1.0	10.3	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	658	22	9	82	1	29	1	2	0	804
	81.8	2.7	1.1	10.2	0.1	3.6	0.1	0.2	0.0	100.0

(図 6-2) 入込利用交通機関割合 (%) ※県内客を除く



全体の入込利用交通機関を見ると、「自家用車」の割合が81.8%で大半を占めており、次いで「航空機」が10.2%、「高速バス」が3.6%、「JR」が2.7%と続いている。

7. 県内消費額

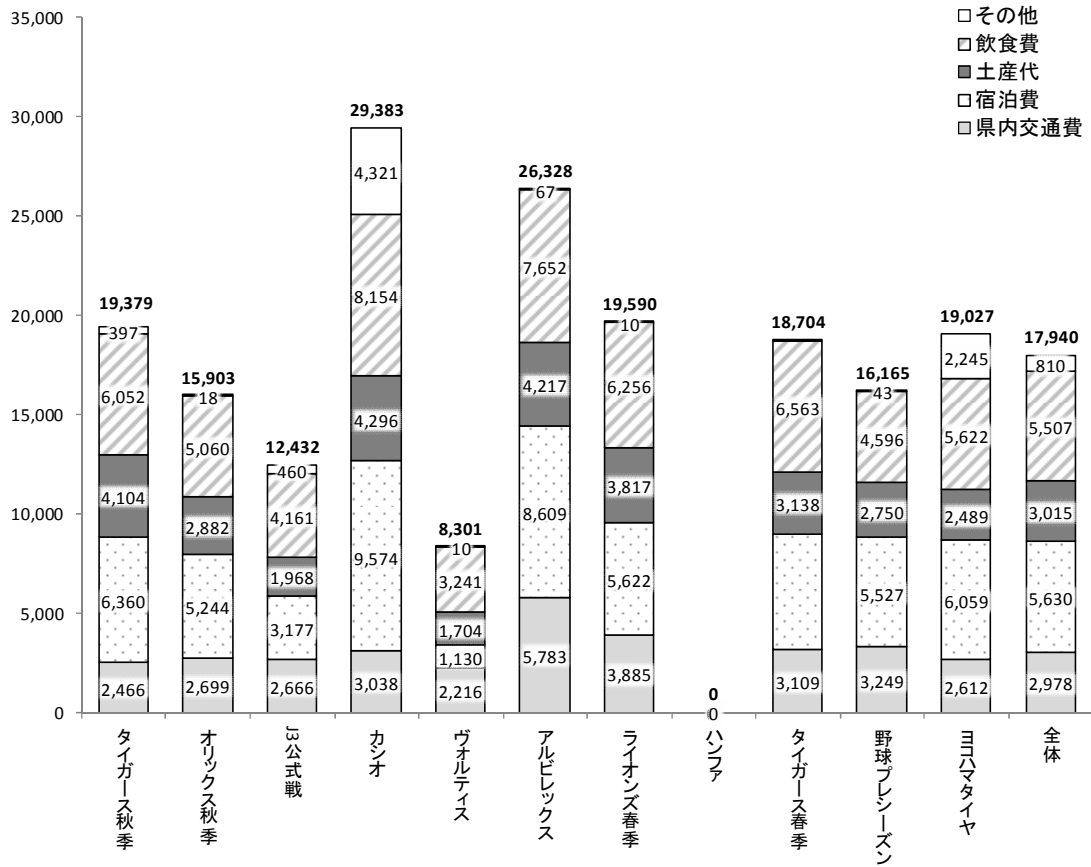
7-1 県内消費額

(表 7-1) 県内平均消費額・同割合 (上段：円 下段：%)

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
タイガース秋季	2,466	6,360	4,104	6,052	397	19,379
	12.7	32.8	21.2	31.2	2.0	100.0
オリックス秋季	2,699	5,244	2,882	5,060	18	15,903
	17.0	33.0	18.1	31.8	0.1	100.0
J3公式戦	2,666	3,177	1,968	4,161	460	12,432
	21.4	25.6	15.8	33.5	3.7	100.0
カシオ	3,038	9,574	4,296	8,154	4,321	29,383
	10.3	32.6	14.6	27.8	14.7	100.0
ヴォルティス	2,216	1,130	1,704	3,241	10	8,301
	26.7	13.6	20.5	39.0	0.1	100.0
アルビレックス	5,783	8,609	4,217	7,652	67	26,328
	22.0	32.7	16.0	29.1	0.3	100.0
ライオンズ春季	3,885	5,622	3,817	6,256	10	19,590
	19.8	28.7	19.5	31.9	0.1	100.0
ハンファ	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
タイガース春季	3,109	5,838	3,138	6,563	56	18,704
	16.6	31.2	16.8	35.1	0.3	100.0
野球プレシーズン	3,249	5,527	2,750	4,596	43	16,165
	20.1	34.2	17.0	28.4	0.3	100.0
ヨコハマタイヤ	2,612	6,059	2,489	5,622	2,245	19,027
	13.7	31.8	13.1	29.5	11.8	100.0
全体	2,978	5,630	3,015	5,507	810	17,940
	16.6	31.4	16.8	30.7	4.5	100.0

(図 7-2) 県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



全体の県内平均消費額は17,940円となり、費目別では県内交通費2,978円(16.6%)、宿泊費5,630円(31.4%)、土産代3,015円(16.8%)、飲食費5,507円(30.7%)、その他810円(4.5%)となっている。

調査区別にみた県内平均消費額は、カシオが29,383円で最も高くなっており、次いでアルビレックスが26,328円、ライオンズ春季が19,590円と続いている。その一方で、ヴォルティスが8,301円で最も低くなっている。※ハンファは県外客サンプルがなかったため比較から除外。

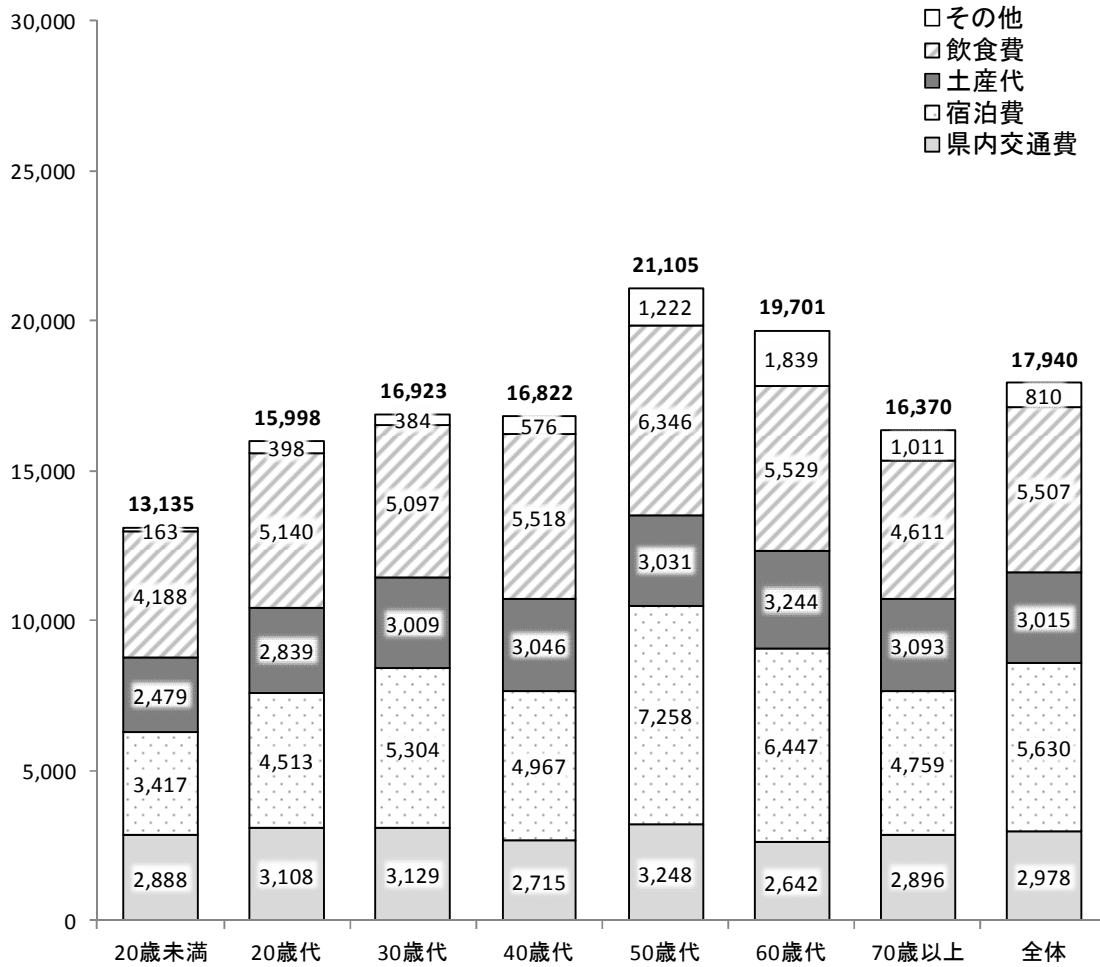
7-2 年代別県内消費額

(表 7-3)年代別県内平均消費額・同割合 (上段：円 下段：%)

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
20歳未満	2,888	3,417	2,479	4,188	163	13,135
	22.0	26.0	18.9	31.9	1.2	100.0
20歳代	3,108	4,513	2,839	5,140	398	15,998
	19.4	28.2	17.7	32.1	2.5	100.0
30歳代	3,129	5,304	3,009	5,097	384	16,923
	18.5	31.3	17.8	30.1	2.3	100.0
40歳代	2,715	4,967	3,046	5,518	576	16,822
	16.1	29.5	18.1	32.8	3.4	100.0
50歳代	3,248	7,258	3,031	6,346	1,222	21,105
	15.4	34.4	14.4	30.1	5.8	100.0
60歳代	2,642	6,447	3,244	5,529	1,839	19,701
	13.4	32.7	16.5	28.1	9.3	100.0
70歳以上	2,896	4,759	3,093	4,611	1,011	16,370
	17.7	29.1	18.9	28.2	6.2	100.0
全体	2,978	5,630	3,015	5,507	810	17,940
	16.6	31.4	16.8	30.7	4.5	100.0

(図 7-4) 年代別県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



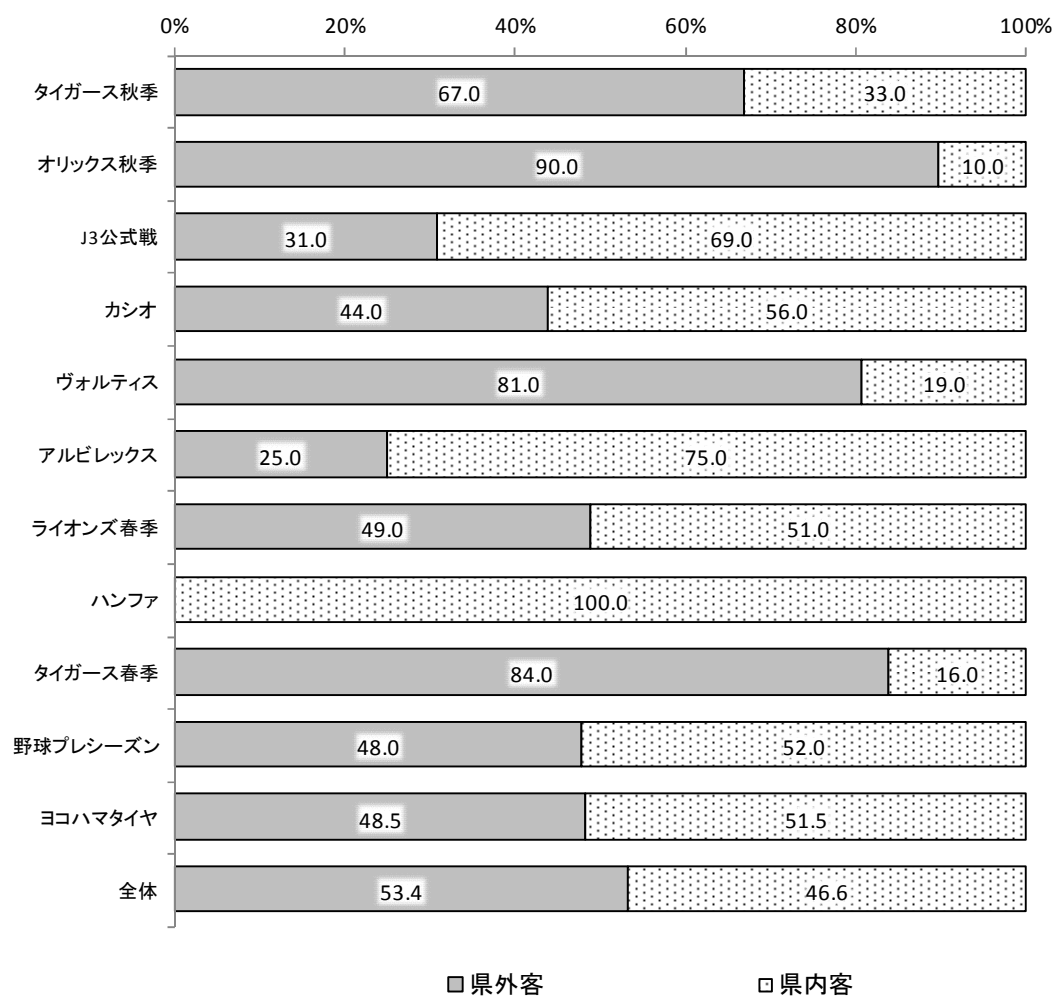
年代別にみた県内平均消費額は、50歳代が21,105円で最も高くなっており、次いで60歳代が19,701円、30歳代が16,923円と続いている一方で、20歳未満が13,135円で最も低くなっている。

費目別に最も高くなった年代と平均額をみると、県内交通費は50歳代で3,248円、宿泊費は50歳代で7,258円、土産代は60歳代で3,244円、飲食費は50歳代で6,346円、その他は60歳代で1,839円となっている。

8. 県内客・県外客

8-1 県内客・県外客割合

(図 8-1) 県内客・県外客割合 (%)



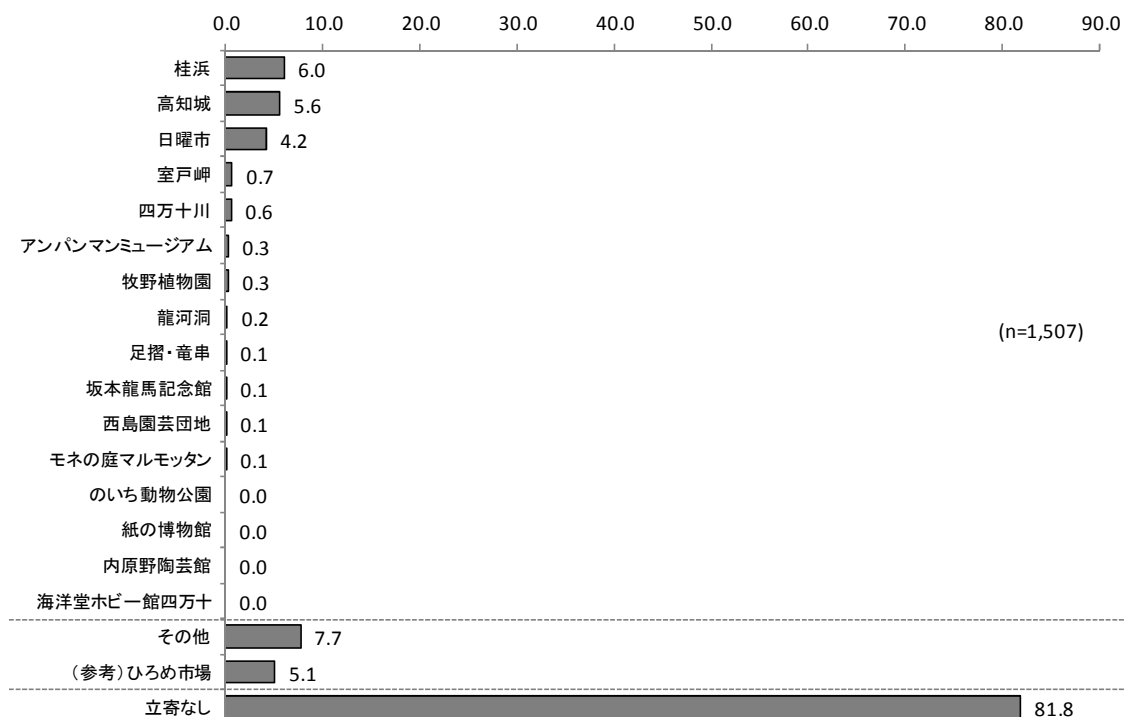
全体の県内客・県外客を見ると、県外客の割合が53.4%、県内客が46.6%と、県外客が多くなっている。

県外客が多くなった調査区分を見ると、オリックス秋季が90.0%と最も多く、次いでタイガース春季が84.0%、ヴォルティスが81.0%と続いている。

9. 立寄観光スポット

9-1 立寄観光スポット割合

(図 9-1) 立寄観光スポット割合 (%)



注) 複数回答あり。

立寄観光スポットは、スポーツ観戦のみの「立寄なし」の割合が81.8%と大半を占めている。立ち寄った（立ち寄る予定）と回答された観光スポットでは、桂浜が6.0%で最も多く、次いで高知城が5.6%、（その他として挙げられた）ひろめ市場が5.1%、日曜市が4.2%と続いている。

その他の観光スポットの具体的な回答として、先述のひろめ市場77件のほかに、温泉8件、はりまや橋7件、寺・神社5件、高知城歴史博物館とわんぱくこうち3件などが挙げられている。